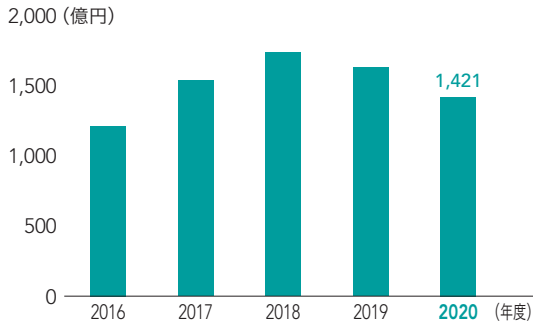


# 財務ハイライト

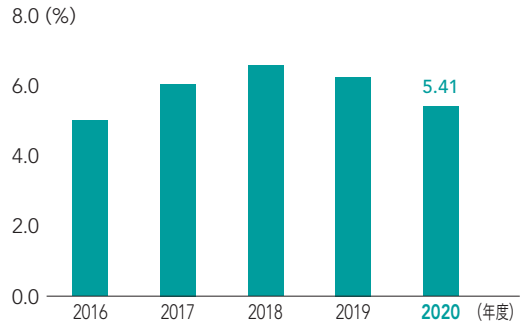
## 親会社株主純利益\*



※ 親会社株主に帰属する当期純利益

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う手数料収益での減益影響、株式等関係損益における損失計上がありました、与信費用は低位に推移し、目標の1,400億円を上回りました。

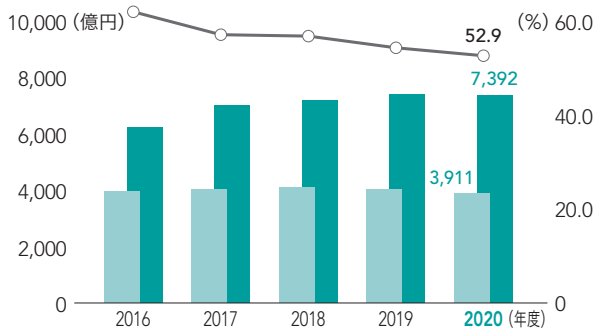
## 自己資本ROE\*



※ 算出方法はP.134ご参照

親会社株主純利益が減益となったことから、低下しました。

## 手数料収益比率\*



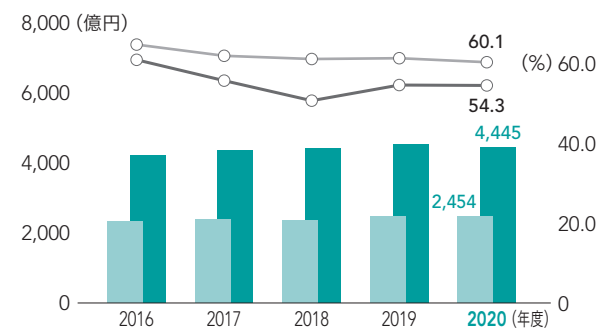
⇨ 手数料収益比率(右軸)

■ 手数料関連利益(左軸) ■ 実質業務粗利益(左軸)

※ 手数料関連利益 ÷ 実質業務粗利益

手数料収益が減少する一方、貸出金利息や株価上昇に伴う組合出資関連収益などの資金関連収益が増加した結果、手数料収益比率は低下しましたが、引き続き高水準を維持しています。

## 経費率(OHR)\*1



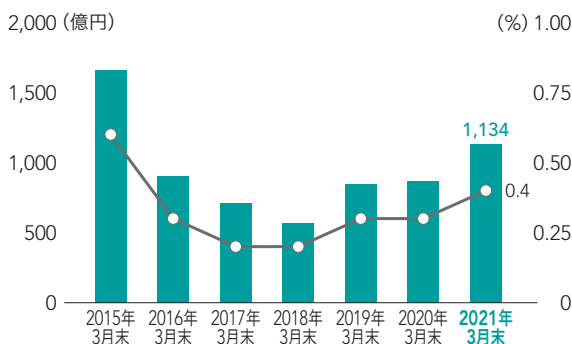
⇨ 経費率(単体)\*2(右軸) ⇨ 経費率(右軸)

■ 経費(単体)\*2(左軸) ■ 総経費(左軸)

※1 経費 ÷ 実質業務粗利益 ※2 三井住友信託銀行(単体)

業務効率化やオンラインによる営業活動定着などにより、経費は減少し、経費率も低下しました。

## 不良債権比率(金融再生法開示債権)\*

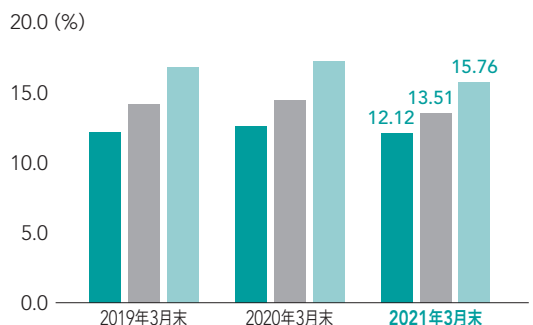


■ 金融再生法開示債権(左軸) ⇨ 開示債権比率(右軸)

※三井住友信託銀行(単体)

2021年3月末の総与信31兆円に対し、不良債権比率は0.4%と引き続き健全な水準を維持しています。

## 自己資本比率等



■ 普通株式等Tier1比率 ■ Tier1比率 ■ 総自己資本比率

いずれも規制上の所要水準を十分に上回る水準を確保しています。